

令和7年度 公立学校における帰国・外国人児童生徒等に対するきめ細かな支援事業 実践体制（豊橋市教育委員会）

【課題】

- ①編入児童生徒が増加傾向にあり、本市の特徴である「東部地区への集住化と南西部への散在化」がさらに進んでいる。また、多国籍化・多言語化も加速化している。
- ②通訳や翻訳の依頼の増加、外国人児童生徒やその保護者の抱える様々な悩みやトラブルに対応する相談員の多忙化が問題となっている。

【実施事業の概要】

- ・在籍校での指導の向上を目指し、教科指導員や相談員が在籍校を巡回訪問したり、国際教室担当教員のために充実した内容の研修会を開催したりする。
- ・編入児童生徒の集住化と散在化に対応できるよう、中学校初期支援コース「みらい東」、小学校初期支援コース「きぼう」、小中協働型初期支援コース「みらい西」の3コースに昨年度改編した。このことで従前より通いやすくなり、より多くの児童生徒が初期支援を受けることができるようになった。今後も初期支援の充実を図っていく。

学年相当の教科の学習に日本語で参加するための在籍校での指導の質の向上をめざす

外国人児童生徒教育相談アドバイザーの配置による相談員の組織強化

日本語相談員およびバイリンガル相談員の巡回訪問・指導

バイリンガル相談員およびスクールアシスタントの常駐配置（集住地区）

登録バイリンガル（有償ボランティア）の派遣（初期支援・通訳派遣）

初期支援コース設置による編入及び転入児童生徒の初期支援

外国人児童生徒相談コーナー・にほんごリソースルームの運営

「進路を考える会」の開催と各学校での外国人生徒のための進路説明会の働きかけ

日本語教育適応学級担当教員の力量向上のための研修会の開催と充実

「特別の教育課程」による個別の指導計画作成・評価の助言

初期支援コースによる来日間もない生徒の初期支援（生活適応・初期日本語指導）

HPによる資料提供・発信

ICTを活用した教育・支援

達成目標

外国人生徒の進学率
を95%以上にする

「特別の教育課程」
による個別の指導目
標の達成率を80%
以上にする

日本語指導を必要と
する児童生徒の取り
出し率を20ポイン
ト上げる

外国人児童生徒の不
登校出現率を2ポイ
ント下げる